

5月25日(水)

本年度第42回(通算2587回)18時30分～ 釧路プリンスホテル

『クラブ協議会(新旧)』 **担当/理事会**

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

4月23日・24日	萩原昭博君・三宅弘泰君	地区協議会
5月16日	三原克也君・泰地浩幸君・菊池美恵子君 中嶋嘉昭君・田村憲一郎君	宜蘭RC友好クラブ締結式
5月15日	松原久幸君	釧路東RC
5月21日	森山義文君・高橋貢君・小林裕幸君	第37回 地区大会

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

5月11日例会 出席及びメークアップ数 36名 出席率 56.9%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 663,000円)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ協議会です皆様宜しくお願いします ・来週の野遊会参加宜しくお願い致します ・昼と夜2度来ました ・宜蘭RC素晴らしいクラブでした ・69回目の誕生日です。年は要らないです | 三原克也君
泰地浩幸君
横田國勝君
菊池美恵子君
小山義雄君 |
|---|--|

☆会長挨拶

皆さん今晚は。釧路は肌寒い日が続いていますが、それでもようやく桜の花も市内各所で満開となったようです。毎年この時期楽しみにしている町内の桜の木が、よく見てみると、昨年に比べて全体的に花びらの色が薄いように感じられます。さて、どういった影響なのでしょう。

又この時期が来ますと、年度も残り少ない印象を持ちますが、今日の例会を含め5回の例会があります。更に気を抜くことなく進めて行こうと思います。

この後のプログラムでのクラブ協議会では、1年を振り返り活動計画の事業実績を報告して頂き、次年度能登年度への申し送りがあれば発表して頂きたいと思ひます。

どうぞよろしくお願い致します。

☆幹事報告

- ①本日の回覧は
 - ・ザ ロータリアン
 - ・レートのお知らせ 1\$82円
- ②IMのご案内を皆様に送りました。多数のご出席宜しくお願いします。
- ③野遊会のご案内をお送りしました。ご家族の皆様とご参加お願いします。



★会長 三原克也 君

私の年度もあと一カ月少々となりました。「光陰矢の如し」と言いますが、長いようであつと言う間の一年だったようにも思えます。

私は今年度のクラブテーマを「不易流行」としましたが、ロータリーの友4月号をご覧いただいたと思いますが、横組み1ページ目、RI会長メッセージの表題がクラブテーマと同じ「不易流行」でした。会長方針にも書きましたように「変えて良いもの、変えないで守らねばならないもの」という意味ですが、改めて確認する1年であつたと思います。

この1年間、各委員会ともクラブテーマに基づいた5つの活動指針ののちとして運営いただいたことに心から感謝したいと思います。年46回の例会の8割は定番例会となり、活動の多くも継続事業が主体ですが、商業高校での就職指導講演会、IDスポーツ大会等々、担当委員会のご協力地域に密着した意義ある活動を実施出来ました。

また、ロータリー活動の中で守らなければならないものの一つが職業奉仕であります。今年度も深川純一PGには職業奉仕の特別講演をいただきました。石井プログラム委員長には、活動指針の一番目に掲げました「お互いの職業をもっと語り合おう」に重点を置いてプログラムを構成していただいたおかげで、メンバー各位の仕事や会社のことを知り、職業奉仕の認識を深める例会を持つことが出来ました。石井委員長には感謝申し上げます。

更に、活動指針の4番目に掲げました「世界を理解し手をつなごう」にふさわしく、台湾の宜蘭RCと友好クラブの締結を果たすことが出来たことは、前回例会でご報告した通りでございます。

尚、クラブ運営の根幹に関わる、会費の問題、会員増強、アクトの問題等々は一朝一夕に解決する課題ではありませんが、問題提起をさせていただいたので是非来年度で具現化していただきたいと思います。

★プログラム委員長 石井東洋彦 君

1. 三原会長が掲げた「職業を互いにもっと語り合おう」を實踐するプログラムとして「会員卓話私の職業」を4回計画したが、パート1では高橋邦弘会員と小野寺英夫会員に、パート2では平田康典会員に、パート3では丹葉一恵会員と小林浩幸会員に、それぞれの職業への動機やモットー、あるいは奉仕の精神など、心に響くお話をしていただいた。6月15日にはパート4を計画している。どなたがお話ししてくださるのか楽しみに。
2. 上期の新入会員卓話を島田和明会員と中島谷友一郎会員に、下期は岡田拓会員にお願いし、新年恒例の「年男・年女大いに語る」では6名の年男・年女のうち、本間明美会員、迫田武会員、小林浩幸会員、三原克也会長に新年の抱負などを語っていただきました。こうした会員の卓話は、家庭集会同様、会員を知るよい機会と思う。これからも続けていただければと思う。
3. 各月のロータリー月間理解のために、各委員会にプログラムを担当していただいた。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

※その他各理事・委員長より下期の反省と次年度への伝達事項の報告が行われました。